

提出日 2025 年 9 月 16 日

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済学部	学部	経済経営学科	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	将来は国際的な環境で活躍できる人材になりたいと考え、語学力の向上に加え、多様な価値観や異なる文化を実体験を通じて学ぶために留学を決意しました。現地での生活や学びを通じて、自立心や柔軟な思考力、そして異文化理解力を深め、グローバル社会で求められる力をつけたいと考えました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地では大学の授業に真剣に取り組み、特にディスカッションやグループワークを通じて語学力や異文化でのコミュニケーション能力を磨きました。また、現地の友人との交流や日常生活を通じて文化の違いを肌で感じ、自分の価値観を見直す機会にもなりました。休日には世界遺産や国際公園といった歴史的な場所を訪れ、現地の社会や文化についての理解を深めました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	留学を通して最も大きな発見は、「当たり前」が国によって異なるということです。言語や生活習慣の違いはもちろん、考え方や価値観も多様であることに気づかされました。例えば、授業中に積極的に発言することや、自分の意見を明確に伝えることが現地では当然とされていて、最初は戸惑いました。また、時間の感覚や人との距離感、食事のマナーまで、文化の違いに触れるたびに「これは自分の基準では測れない」と感じる場面が多くありました。バスや電車の無賃乗車の多さには特に驚かされました。その一方で、自分の中の「当たり前」も、相手にとっては新鮮に映ることがあると知り、互いの違いを尊重し合う大切さを学びました。今後はこの経験を活かし、異なる価値観を持つ人々とも柔軟に関わる力を伸ばし、将来的には多文化が交わる環境で活躍できる人材を目指したいです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学を通して、多様な価値観や文化に触れることで、物事を一方向からではなく多面的に考える力が身に付きました。また、自分とは異なる背景を持つ人々と英語でコミュニケーションをとる中で、言語力だけではなく、相手を尊重しながら意見を伝える姿勢の重要性も学びました。今後はこの経験を活かし、異なる考えを持つ人々と協力しながら、円滑なコミュニケーションがとれる力をさらにのばしたいです。将来的に多文化が関わる職場で、相互理解を深める架け橋のような存在になりたいと考えています。
5. 自由記述	この海外研修を通じて目標や将来やってみたいことがより明確になったことを感じています。次の目標にむかって頑張っていきたいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 17 日

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学した理由は、海外に行って現地の人と沢山会話をして、自分の英語力を上げたかったからです。私はこれまで、リーディングやライティング、リスニングはたくさん勉強してきました。それは、試験を受けたり、資格を取得するために必要だったからです。しかし、これから社会で生きていく上でスピーキング力が一番必要になってくると考えました。そこで、実際に海外に行ってより沢山のひとと会話することで、コミュニケーション能力、スピーキング力を向上させることができると思い、参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	平日は、毎日8時30分から授業が始まりました。15分の休憩を挟んで90分の授業が2コマあって、その後30分の昼休憩がありました。その後90分の授業を1コマ受けて、1日の授業は終了します。午後の授業は、テストに向けた授業か、スピーキングの授業か自分で選択することができました。学校までが1時間以上掛かるため、毎朝5時30分に起床する必要がありました。毎朝早く大変だったけど、その分終わるのは早く自由時間が多いので、効率よく1日を過ごすことができたと思います。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回、私が夏期英語研修に参加した大きな理由は、ホームステイができるからです。ホームステイをすることで家にいる時間はホストファミリーと英語で会話、日中は大学で英語の授業、と一日中英語で生活することでより早く英語力が上達すると思いました。実際、家にいる時間は、できるだけリビングでホストファミリーと会話をするように心がけました。最初は、イギリス英語という事もあって発音が難しく、スピードも速くてなかなか聞き取ることができず、会話をうまくすることができませんでした。しかし、最終日には、冗談を言い合えるくらいに楽しく会話ができるようになりました。まだ、完璧にすべてを理解できるわけではないけれど、以前よりは成長できたと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学で、改めて国際的な仕事をしたいなと思いました。そのためには、話す力だけではなく、全体的に英語力があるという証明をする必要があります。その手段として、TOEICでしっかり点数を取るために、まずは試験勉強をし、次の試験で少しでも点数を上げられるように頑張りたいと思います。そして、外資系の企業に就職できれば良いと思っています。特に、私は接客サービス業にも興味があるので、海外からの観光客が増えている今、自信を持って話せるように、試験勉強をしながら英語力を向上し続けられるように頑張りたいです。
5. 自由記述	今回の留学で、英語だけでなく文化についても学ぶことができました。オーストラリアの学生は、肌の色や髪の色が生まれつき違う人たちが、関係なく仲良く会話をし、同じ教室で授業を受けていました。また、髪を染めている人やタトゥーを入れている人たちも関係なく学校に通い、それぞれの職場で働いていました。それを見て私は、日本ももっと見かけにとらわれず、人に干渉すぎない、自由に生きられる環境があったら良いなと思いました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 18 日

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	一度別の英語研修に参加したことがあり、それがとても楽しかったので参加しようと思いました。また、学年的にも今回が参加する最後のチャンスと思ったからです。この研修はホームステイでの研修と知って、英語力がより向上すると思いました。私は将来について、明確にやりたいことが決まっていなかったのですが、国際関係に興味があったので、英語についてもっと能力を高めたいと思いました。この研修を通して、特にリスニングとスピーキング能力を伸ばしたいと思い参加しました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	大学では、午前中は主に単語や文法について学びました。習ったことのある文法もあったけど、しっかり理解できていなかったとわかり、また理解を深めることができました。また、単語についても知らなかった単語も知ることができました。午後の授業では、コミュニケーションを中心とした授業でした。ゲームやグループワークを通して、リスニングとスピーキングを同時に鍛えることができました。学校が終わってから、ホストファミリーと文化やその日の出来事をたくさん話しました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	この研修の最初の週はリスニングについて、ネイティブの英語を全く聞き取ることができませんでした。しかし、ホストファミリーや大学で先生との会話を重ねていったことで、どんどん聞き取れるようになった気がしました。特にホストファミリーとの生活では、毎日夕食の時間にみんなでオーストラリアと日本の文化、その日の出来事などについて話しました。食文化や観光地について知ることができました。週末には様々な観光地に行きました。バスやトラムを利用する際、トラブルや困惑することは多々ありましたが、街の人たちが助けてくださりました。オーストラリアの人たちはフレンドリーで親切でした。また朝早くから活動する人が多くいて、日本とは生活サイクルが違うと思いました。文化の違いを多く発見することができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	この研修を通して、より海外に興味を持つことができました。言語は大きな違いだけど、ジェスチャーや簡単な単語を使うことで伝わる場面も多かったです。英語の学習を続けていくことで、英語でのコミュニケーションがよりできるようになってとても楽しくて、うれしく感じました。また、実際にネイティブの人とコミュニケーションをとることは一番英語力が成長する手段だと感じました。将来国際関係への就職も考えているので、この留学経験を最大限に利用しようと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 22 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光学科	学科	2	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2005 年 8 月 16 日 ~ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	海外にとっても興味があり、大学を卒業後は海外で就職をして海外で生活をしたいと思ったからです。僕は外国人と遊びに行ったり、外食したり交流を深めることが好きで、留学でも外国人とたくさん話したり、友達を作りたいと思い、海外研修に参加いたしました。あと僕は子供の時にタイに家族の転勤で住んでいたこともあったので、子供の時から海外に住むことにとっても興味がありました。僕は日本の生活よりも海外で生活する方がとても楽しいと思います。海外では何もかもが新鮮でとても楽しいと思い、海外の人と話すことが僕はとても好きなので、僕は日本よりも海外で生活する方が向いていると今回の留学で感じました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	サザンクロス大学での授業は、神戸国際大学以外の他の大学からもたくさんの日本人の留学生がいました。登校初日にサザンクロス大学に着いた時に、こんなたくさんの日本人の留学生がいるとは思いませんでした。オーストラリアの生活面に関しては、オーストラリア到着したその日の昼にはホストファミリーの家に到着しました。最初ホストファミリーと初対面の時はとても緊張をしてしまい、なかなか話せませんでしたが僕の他にも東京から来た中国人のルームメイトも居たので、少しだけ安心しました。ルームメイトも英語は完璧ではなく、僕と同じコミュニケーション力だったので、一緒にホストファミリーと英語の会話の練習ができ、ルームメイトが居て良かったと思いました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回のオーストラリア留学で感じたことは、オーストラリアと日本の物価はとても違うということでした。日本ではモンスターエナジーが一本230円しますが、オーストラリアでは500円したので、とてもオーストラリアの物価は高いなと感じました。大学のカフェテリアの昼食も毎回1,000円を超えていましたので、節約も大切だなと実感しました。日本では節約もすることがありませんが、オーストラリアの留学に来てからは物価も高いので、買い物をする時はしっかり値段を見ることが大切だと思いました。新しく感じたことは、オーストラリアの店員はとてもフレンドリーで明るい笑顔がとても良かったと思いました。日本の店員はフレンドリーでは無いので、日本の店員もフレンドリーになるべきだと思いました。店員がフレンドリーだとちょっとした会話もでき、良いと思いました。僕がオーストラリア留学の時でもコンビニやカフェの店員は、「How are you? 」と最初に話かけてくれるので、これは良いと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	もしこれからも留学の機会があれば、次の留学は半年から、1年くらい留学してみたいと思いました。今回の留学がとても素晴らしい経験になったので、今回の留学の英語力をまた次の留学でも活かしたらとても良いと思い、次回も留学の機会があればセメスター留学にも挑戦していきたいと思いました。英語力を継続させるためには、普段から英語力を使うことが大切だと思います。大学を卒業後、僕は将来飛行機の客室乗務員として働きたいと思っているので英語力を更に高め海外で客室乗務員として働きたいと思います
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私がオーストラリアに留学しようと思った理由は、夏休みの1か月をただ日本で過ごすのではなく、その1か月間で新しい経験をしたと考えたからです。私は将来についてどんな職業に就きたいかなど具体的な目標がまだ決まっていません。そのため、大学生活の4年間を通して多くの経験をし、そこから得たことを自分の成長につなげたいと考えています。今回の留学はその第一歩であり、異なる文化や生活の中で自分の視野を広げることができると考えました。また、私は高校時代に留学の経験もあり海外に行くことが大好きで、このプログラムには必ず参加したいと考えていました。しかし、英語の文法にあまり自信がなかったことから、英語力の向上と自分の将来を考えるきっかけを得ることもとても大きな目的でした。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	今回のオーストラリア留学が1か月間と、とても短い期間だったため私は1日1日を日本に居るとき以上に大切にしたいと思いオーストラリアについた初日からホストファミリーやルームメイトと過ごせる時間を大切にしました。ホームステイ先にはシアタールームがあり、ホストファザーとブランケットをシェアしながら映画と一緒に見たことが1番の思い出です。また現地の学校では、ほとんどが日本人の学生でしたが日本人同士であっても英語で話しかけるように心がけていました。授業内容は文法の勉強がほとんどでしたがグループワークやディスカッションをすることが多く退屈することなく楽しく学ぶことができました。放課後や休日はクラスのみんとテーマパークへ行ったり、ホストファミリーの自転車を借りてリルームメイトと一緒に海辺へサイクリングをしに行ったりと毎日が充実していました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	私はオーストラリアでの留学を通して、自分の考え方が大きく変わりました。特に驚いたのは人々の生活リズムです。オーストラリアでは夜の就寝時間がとても早く、起床時間も早い事に最初は戸惑いました。その理由をホストファミリーに尋ねると、多くの人が「朝活」をしていると教えてくれました。ある休日にホストマザーに誘われて早朝のウォーキングに出かけると海で過ごす人やランニングをする人、公園で筋トレをする人などたくさんの方が自分のやりたいことに時間を使っている姿を目にしました。社会の流れに流されることなく、自分の意思で行動している姿はとても魅力的で、私もそのように生きていきたいと強く感じました。また、オーストラリアに行く前の私は将来の職業について常に悩み、具体的な答えを出そうと必死に考えていました。しかし、この経験を通して、やりたくないことを無理に仕事にするよりも、自分が心からやりたいことを仕事にするほうが自分の人生にとって価値があると気づきました。人生は一度きりであり、どの瞬間もやり直すことはできません。だからこそ、オーストラリアで出会った人々のように自分のやりたいこと大切にし、社会のやり方にとらわれずやりたいと思ったことをやり通せる人間になりたいと思いました。この考え方の変化は、私にとって大きな成果であり、将来を考える上での大切な指針になりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学経験から「自分の意思を大切にすること」がどれほど重要かに気づくことができました。今後は将来の進路などを考える時も周りがこうするから私もというように人に流されるのではなく、自分が本当にやりたいと思えることを選んでいきたいです。また生活面でも規則正しく朝を大事にする習慣を取り入れ、充実した毎日を過ごしたいと思います。今回の留学は、私にとって新しい価値観を教えただけでなく、これからの生き方を考える大きなきっかけになりました。それもこれも全て私が行動したからです。行動したことでこんなに考え方や価値観が変わりました。この経験が私にとって第一歩であり、今後も自分のために行動し続けてたくさんの経験から新たな自分を作り上げていきたいです。
5. 自由記述	この一か月で感じた事は“A”を聞き取ることが難しいということです。イギリスアクセントやアメリカアクセントがあるようにオーストラリアアクセントもあり初めの方は聞き取ることがとても難しく感じていました。ですが、聞き取れるようになってからは発音できるようになりたいと思い真似をしていると自然と発音できるようになり、ルームメイトにもオーストラリアアクセントになってすごいねと言われるようになりました。日本に帰国した今ではあのオーストラリアアクセントが聞けなくて少しさみしいです。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者F】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が留学をした理由は2つあります。1つ目は、英語力を伸ばしたかったからです。学校の授業だけでは学べない、現地の方が実際の生活で使う英語を身に着け、より自然な英語で自分の考えを言えるようになったからです。2つ目は、海外の文化に触れてみたかったからです。異なる習慣や価値観に触れることで、自分の視野を広げ、柔軟な考え方を育てるようになったらと思ったからです。目標は、国際的な感覚を持ち、様々な国の人と理解しあえるグローバルな人間になることです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	学校の授業では、only Englishという決まりがありましたが英語が得意ではない私にとってはとても大変でした。学校は13:15に終わり、そのあとは友達とビーチに行ったり、買い物に行ったりして過ごしました。家に帰ってからはホストファミリーとその日あったことや週末の予定について話しました。うまく伝わらないことも多かったですが、伝わった時はうれしかったです。授業以外でも英語を使う機会が多くあり、英語で自分の気持ちや予定などを伝えるいい練習になりました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学を通して、一番の目標だった英語力を少しずつ伸ばすことができましたと思います。授業だけでなく、買い物やホストファミリーとの会話などで英語を使う機会が多くあり、はじめはあまり伝わらなくて不安でいっぱいでしたが少しずつ自分の言いたいことを伝えられるようになりました。うまく話せなくても相手が理解してくれることも多くあり、間違いを気にせず話すことが大切だと気づきました。また、現地の人の考え方や文化に触れる中で、日本では当たり前だと思っていたことが違うと感じる場面があり、価値観に対する理解が深まったと思います。今回の経験を通して、まだ勉強が必要だと感じると同時に、少しはグローバルな人間に近づけたのではないかと思います。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	授業やホストファミリーとの会話を通して、間違えても積極的に話すことの大切さを学んだので、今後は学校の英語の授業や日常生活でも自信をもって英語を使っていきたいです。また、異なる文化に触れて考え方の幅が広がった経験は、将来様々な人とかかわるときに役立つと思います。将来は理学療法士として働く予定なので、国や文化が違う人に対しても理解を持ち、安心してもらえる対応ができるよう、英語力を高め、国際的な視野を広げていきたいです。
5. 自由記述	今回の留学で最初は不安でいっぱいでしたが、毎日が新しい発見でホストファミリーとも楽しく過ごせたのでとても貴重な体験になりました。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者G】

所属	リハビリテーション 学部 理学療法 学科 1 年				
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)				
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)				
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学		

1. 留学した理由、目的・目標	私がオーストラリアへ留学した理由は、将来海外でスポーツ分野に携わりたいという夢を持っているからです。現地での生活を通して実際の英語環境に身を置き、会話を向上させることを目的としました。また、異文化に触れることで自分の価値観を広げ、多様性を受け入れる力を養うことも目標でした。特にスポーツに関する英語表現を学び、将来の進学や資格取得につなげたいと考えました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	滞在中は大学での英語クラスを中心に学び、リスニングやスピーキングを重点的に強化しました。授業ではディスカッションやプレゼンテーションを行う機会が多く、最初は自分の意見を伝えることに苦労しましたが、積極的に発言することで少しずつ自信がついてきました。また、ホストファミリーとの生活では、食事や日常会話を通じて自然な表現を学ぶことができました。さらに、週末には現地の友人と観光やスポーツを楽しみ、文化の違いを体験しながら交流を深めました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学での最も大きな成果は、英語でのコミュニケーション力が向上したこと。特に、リスニングに対する苦手意識が減り、会話のスピードにも慣れてきました。また、現地での授業を通じて自分の考えを発表する力が身につく、以前よりも積極的に英語を使えるようになりました。ホストファミリーとの会話では、文化の違いから学ぶことも多く、特に家族の時間を大切にする姿勢に感銘を受けました。さらに、多様なバックグラウンドを持つ友人と交流したことで、自分の視野が広がり、将来海外で働くという目標がより明確になりました。留学は語学力だけでなく、人間的にも成長できた貴重な経験となりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の経験を今後の学びや将来に大いに活かしたいと考えています。まず、大学での授業や資格取得のための勉強において、英語文献や海外の情報を積極的に取り入れることで学びを深めます。また、留学中に身につけたコミュニケーション力と積極性を活かし、国際的な場面でも自信を持って行動できるようになりたいです。将来的にはスポーツ医学やトレーニング分野で海外と関わる仕事に就くことを目指しており、今回の留学はその第一歩となりました。
5. 自由記述	オーストラリアでの生活は、自分にとって大きな挑戦であり、成長の機会となりました。特にホストファミリーや現地の友人との交流は、教科書では学べない実践的な英語力を身につけるきっかけになりました。また、異なる文化の中で生活することで、日本の良さを改めて感じると同時に、自分の考えを柔軟にすることができました。今後もこの経験を忘れずに、挑戦続けたいと思います。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者H】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	1	年
プログラム名	夏期英語研修(グループ型)					
留学期間	西暦 2025 年 8 月 16 日 ~ 2025 年 9 月 14 日 (約1ヶ月)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	サザンクロス大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学した理由は2つあります。 1つ目は高校の修学旅行で1週間シンガポールに行った際に英語を話す場面が何度もあったのですが、いつも友達に頼ってしまい英語を一切話さず過ごしてしまったので、この留学では自分の力で頑張って英語を理解し話したいと思ったからです。 2つ目は、親の励ましの言葉です。入学式で留学の紙が配られたとき、はじめは参加する気はなかったのですが、親が「リハの1年でしか行けんのんなら行った方がいいよ」と言われ、私はお金のことを心配していたのですが、「そんなの気にしないでいい」とはっきりと言われ、行く決断をしました。 留学の目的・目標は、オーストラリアの文化を実感し、ホストファミリーに率先して話しかけることでした。オーストラリアの文化は1か月であまり体験することはできなかったですが、ホストファミリーとはたくさん話すことができました。率先して話しかけることはあまりできませんでしたが、休日の予定を自分から伝えられるときは伝えたりして過ごしました。 また、ルームメイトがいてその子は英語がすごく喋れるのですが、私は英語が喋れないのでホストファミリーの家でも英語を使って話すことに苦戦していたのですが、1週間経ったぐらいから少しずつ慣れていき、英文がおかしくても頑張って話すようにしていました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	大学では、先生が日によって代わったり、週で代わったりしていたのですが、授業内容は隣の人と配られたプリントに書いてある質問をお互いに答えあったり、問題の答えを一緒に考えたりしていました。毎日違うプリントが配られているので、日に日に問題の難易度が変わっていたのですが、頑張って理解して間違ってもいいから問題を解くように心がけていました。 毎週金曜日にSpeakingとWritingのテストがあり、先生にはすごく難しいので頑張って解いてと言われたので、頑張りましたがうまく理解することができず、すごく苦戦しました。お昼休憩の時は、たまにFree SudwayやFree Paellaなど無料の日があり友達と一緒に食べに行きました。 4週間のうち2週間目の金曜日だけActivityの日があり、その金曜日は午後の授業が体を動かす時間になり、1回目のActivityの日は前日に雨が降っていたため外ではできなかったですが、SingingやBINGOなどにわかれてアクティビティを行いました。2回目のActivityの日は晴れていたもので、外でバレーをしたり卓球、Singingに分かれて午後の時間を楽しみました。お昼休憩は30分だけでしたが、みんなとホストファミリーの話やオーストラリアで買いたいものの話をしながらご飯を食べました。
3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	目標の達成度に関しては100%達成したとは言えないですが、50〜70%ぐらいは達成できたと思います。 最初の2週間はホストマザーが翻訳機を使ってくれたため会話の内容が理解できていたので、最初の2週間は目標を達成できなかったです。残りの2週間は、耳が慣れてきたのか「今、これについて聞かれている」というのがだんだんとわかっていくようになりました。たまに理解できなくてマザーが翻訳機を使い教えてくれたましたが、最初の2週間よりは翻訳機を使う回数も少なくなってきたので、良かったと思います。 帰国日はザーチと話すことが多かったですが、質問の意味も理解することができて初めて会話が続きました。帰りの飛行機の話をしたり、一緒にテレビをみたりして最後の時間を過ごしました。 英語が得意ではないので、うまくいったとは言えないですが良い経験ができたと思います。1ヶ月のオーストラリアでの生活で、ホームシックになることはなく毎日楽しく充実した時間が過ごせたと思います。新しい友達もでき、友達とMovie Worldに行って1日遊んだり、大学生になって一度もしたことがないことをオーストラリアですることができました。 感じたことは、日本にいるときは夜中の12時でも眠くないときがあり、休日もお昼までぐっすり寝られるけれど、オーストラリアに行ってからは毎日夜の9時〜10時の間には必ず寝て、朝5時〜6時半までには起床してと、オーストラリアに来てから早寝早起きをするという自分でも不思議に思うくらいな生活をしていました。しかし、ぐっすり眠れていても疲れが完全に取れることはなく、たまに体中が痛い時もあります。それでも、大学の授業スタートが8時半なので二度寝するわけにもいかず準備、朝ご飯を済ませないといけないので急いで準備をしたり、自分で朝ご飯を用意したりして大学に行く準備をしました。目覚めは良かったですが、疲れは取れていないので、ベットから降りて次の移動に入るまでに時間がかかりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	リハ学部は、2回生から参加希望者には台湾での施設研修があるので、その参加に向けてもっと英語を勉強したり、サザンクロス大学で習ったことを復習して英語力を上げていきたいと思います。 また、Speakingが得意ではないので、YouTubeを観るときや家で映画を観るときに英語の字幕をつけたりと日常生活の中で少しずつ、英語を聞く時間を作っていきたいと思います。 リハ学部なので、毎日英語の勉強をするのは難しいですが、週に2〜3回を目標に英語で動画を観たり音楽を聞いて、英語を学習する時間を作っていきたいと思います。 今まで、こんなに長く英語に触れることがなかったので、理学療法士になるための勉強もそうですが、台湾の施設研修に向けての勉強も頑張っていきたいと思います。
5. 自由記述	オーストラリアでの一番の思い出は2つあります。 1つ目はクラスメイトとMovie Worldに行ったり、大学が終わった後にバーベキューをしたことです。ほかの大学の学生と関わることがあまりないので、私にとって不思議な時間でもあり楽しい時間でもありました。こんなにみんなと楽しい時間を過ごせたのは、クラスの一人が提案してくれたおかげだと思います。友達が提案してくれなかったら、みんなとより深く交流を深めることはなかったし、授業が楽しいと感じることはなかったと思います。みんなと遊びに行ったり、ご飯を食べたことで懐かしい話やみんなの地元の話をしたりと会話が増えていき、休憩時間の会話が増えていくようになりました。忘れられない大切な思い出をまた一つ作ることができました。 2つ目は、SunsetとSunriseを見たことです。オーストラリアで初めてSunsetとSunriseを見ることができてとても嬉しかったです。Sunriseは6時前に見えるので朝の4時に起きて急いで準備をして見に行きました。近くのビーチで見たのですが、5時半にはオーストラリアの人は犬の散歩をしたり、ジョギングをしている人、カフェでゆっくりしている人がいて、朝から元氣だなと思っていました。私がみたSunriseは海からではなく雲の上から出てきたのですが、優雅な朝が過ごせたと思います。Sunsetはクラスメイトとバーベキューをし終わった後に近くの海岸で見たのですが、すごくきれいで景色も最高だったので、みんなと最高の時間が過ごせました。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ 1～5 のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができている。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

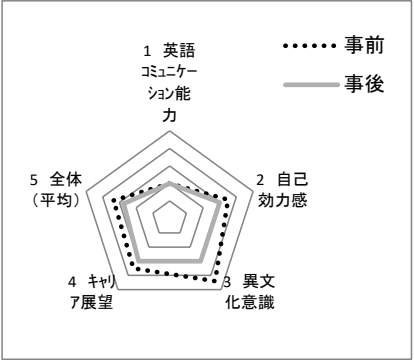
4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事が何か理解している。
- 自分が就きたい仕事が明らかになっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2025年度 夏期英語研修(グループ型) 参加前後における意識調査アンケート結果 (サザンクロス大学) 対象者:8名

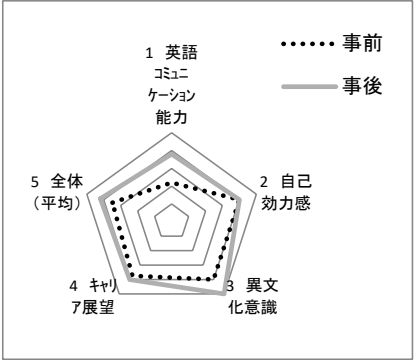
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.0
2 自己効力感	3.5	3.0
3 異文化意識	4.4	3.0
4 キャリア展望	3.5	3.0
5 全体(平均)	3.4	2.8



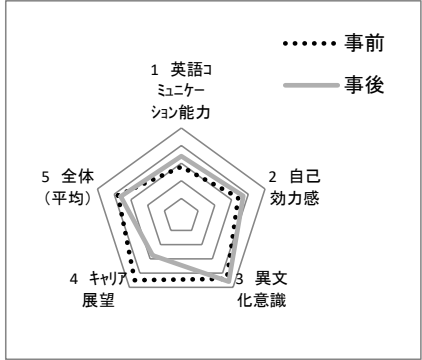
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	3.8
2 自己効力感	4.0	4.0
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	3.8	4.0
5 全体(平均)	3.5	4.2



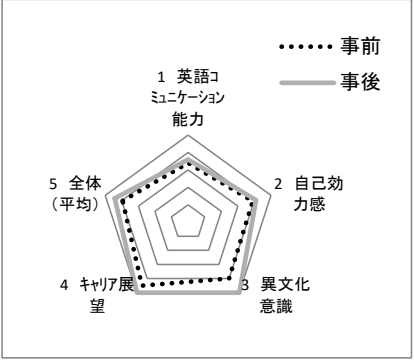
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.8	3.4
2 自己効力感	3.4	3.7
3 異文化意識	4.4	4.6
4 キャリア展望	4.5	2.8
5 全体(平均)	3.8	3.6



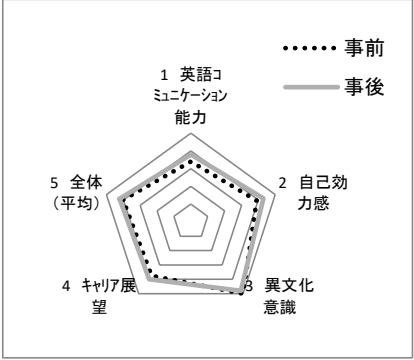
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	3.6
2 自己効力感	3.9	4.1
3 異文化意識	4.0	5.0
4 キャリア展望	4.5	5.0
5 全体(平均)	4.0	4.4



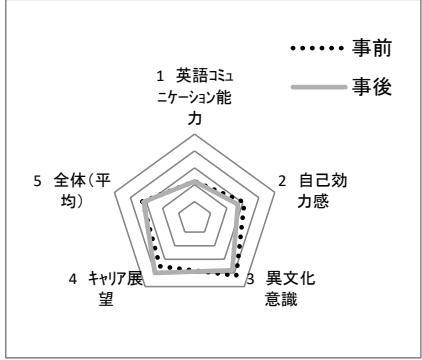
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	3.4	3.8
2 自己効力感	3.9	4.3
3 異文化意識	5.0	4.8
4 キャリア展望	3.8	4.0
5 全体(平均)	4.0	4.2



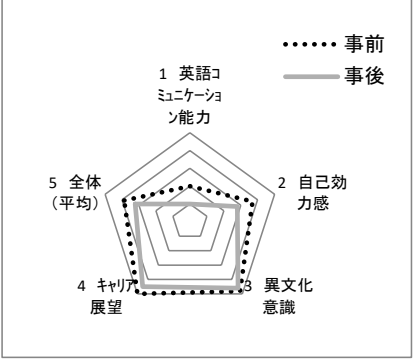
【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	2.2
2 自己効力感	3.1	2.7
3 異文化意識	4.2	3.8
4 キャリア展望	3.5	4.0
5 全体(平均)	3.3	3.2



【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	1.0
2 自己効力感	3.7	2.8
3 異文化意識	4.8	4.6
4 キャリア展望	5.0	4.5
5 全体(平均)	3.9	3.2



【参加者H】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.0	2.6
2 自己効力感	2.1	1.9
3 異文化意識	3.6	3.0
4 キャリア展望	4.0	3.5
5 全体(平均)	2.9	2.8

